

『高森町のシンボル』に

設計。実際にはバスロータ16メートルもあるゆとりある長さ120メートル、奥行き になる計画です。 なり、86メートルほどの長さ ら長さは30メートルほど短く リーや駅業務との兼ね合いか ロポーザルでヌーブ社が提案 したのはプラットフォームが 昨年9月に行われた公開プ の設計と建築設計の目標をそ れぞれ紹介します。

勘案したりして、各分野の設 有する類似施設の分析などを い高森駅に適用可能な機能を 係者と協議を重ねたり、新し を含む公共空間の設計を、 計指針を定めました。 その広いプラットフォー 関

> ランニングコスト の軽減を図る 設備計画を行う

快適かつ機能的な 運行業務を行える 駅舎をつくる

建設コストの 抑制を図る

ここでは、ランドスケープ

建築設計の目標

安定した駅業務 が行える設備計画 を行う

> 回廊空間を 引き立てる構造 計画を実現する

眺望点を 設置する

防災拠点となる 駅を目指す

用したいと思う」と話し

スが完成したら、どんどん活 いろな人が集える交流スペー い人からお年寄りまで、

いろ

交流拠点となる 施設をつくる

E 公民館との

連続性を活かした 遊び場を整備する

F

高森らしい

植栽計画を行う

交通結節点に ふさわしい 交通計画を行う (バスなど乗り継ぎ

の利便性)

皆が集う交流の場

眺める―南阿蘇鉄道の駅で唯 から列車越しに沈む夕焼けを

[々としたプラットフォーム 景色を遮るものが何もない

B 周りの風景を 映し出す水盤を 設置する

ランドスケーフ デザイン

の設計目標

高森町の新たな

シンボルとなる

「とにかく広いプラ

ットフォーム」

を実現する

D

C

平常時も非常時も 機能的な「ダブル・ ロータリー」を 整備する

## 魅力ある駅にするため

に一番こだわりました」とに列車を停めるという部分でれたテーマ『とにかく広いされたテーマ『とにかく広い「プロポーザルで最も評価 ロッコ列車はプラットフ 話すヌーブ社の太田代表。ト る駅舎側に停車をさせる ムに、普通列車はひさしのあ 駅業務や設備の関係 オ |



▲公表会で完成報告を する太田代表

く着地点を見出しました。 会社とで協議を重ね、ようや りヌーブ社と南阿蘇鉄道株式

部活後、汗を流せるシャワー 列車の発車合図として鳴る音 れ、20人ほどの生徒が参加し主催のワークショップが行わ 校生ならではのユニークな提 など「理想の駅」の実現に高 楽)制作、観光大使の設置、 のほかに、駅メロ(鉄道駅で 柔が次々と出ました。 12月には高森高校で高森町 提案した高森高校生は 交流スペース 子どもの遊び場 シンボルツリ 、一若

> い入れの強さをうかがわせま ンボルですから」と話し、思

現したいと思ったイメージで

南阿蘇鉄道は高森町のシ

町の未来を考えると絶対に実

現できるハイライトシーン。

太田さんはこの光景を「高森

を有する高森駅だからこそ実

西向きのプラットフォーム

があるので、今後どのような 作っていくか考える必要があ ります」と今後の課題にも触 体制で魅力的な駅前広場を くりと観光拠点としての役割 の安全運行を第一に、まちづ また「新しい高森駅は鉄道

ATTENDED DESCRIPTION OF THE PERSON